



2024年3月期 第1四半期
決算説明資料

富士興産株式会社
(コード:5009)

2024年3月期第1四半期 決算概要 : P. 01

各事業別詳細および今後の取り組み : P. 02 - 06

- ・ (P. 02) **石油事業** - 産業用燃料（灯油、軽油、重油等）・アスファルト・潤滑油等の販売事業 -
- ・ (P. 03) **ホームエネルギー事業** - 北海道道央地区における家庭用燃料（灯油、LPガス等）の販売事業 -
- ・ (P. 04) **レンタル事業** - 北海道道央地区における建機・重機等のレンタル事業 -
- ・ (P. 05) **リサイクル事業** - 北海道道央地区における廃棄物（廃油、廃プラ等）のリサイクル事業 -
- ・ (P. 06) **環境関連事業** - 太陽光発電事業とアドブルー販売事業 -

2024年3月期計画 : P. 07

株主還元予想 : P. 08

Appendix : P. 09 - 18

（注）本資料では2024年3月期＝FY2024、第一四半期＝1Q、ホームエネルギー＝HE 等の略語を使用しております。

HE事業、レンタル事業が好調に推移し、前年実績、計画共に上回る実績

(単位：百万円)

	2024年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年対比	2024年3月期 1Q計画	計画対比
売上高	13,145	15,100	▲1,955	-	-
営業利益	175	64	+111	95	+71
- 石油事業	▲55	▲65	+10	▲20	▲35
- HE事業	50	14	+36	▲5	+55
- レンタル事業	47	43	+3	▲10	+57
- リサイクル事業	67	-	(+67)	70	▲3
- 環境関連事業	66	71	▲5	60	+6
経常利益	178	69	+109	-	-
純利益	139	80	+60	-	-

- リサイクル事業がセグメントに加わったこともあり、営業利益は前年比+111百万円(273.4%)
- リサイクル事業除きでも前年比+44百万円(168.8%)と前年を上回る営業利益実績
- 一部セグメントで計画未達も連結計画を大幅に達成(営業利益計画比184.2%)

付加価値提案型営業による新規開拓推進も事業環境が厳しく計画未達

営業利益

▲55 百万円

計画比

▲35 百万円

<1Qについて>

- 国内石油製品需要について、中間三品※は概ね前年並みもアスファルト、潤滑油は前年比90%前後と前年を下回る
- 高止まりする仕入価格に対し、市況は低調に推移し、計画マージンレベルに未達
- 安定的な収益基盤の確立を目指し、周辺製品やサービス等の付加価値を訴求した提案型営業による新規開拓の推進

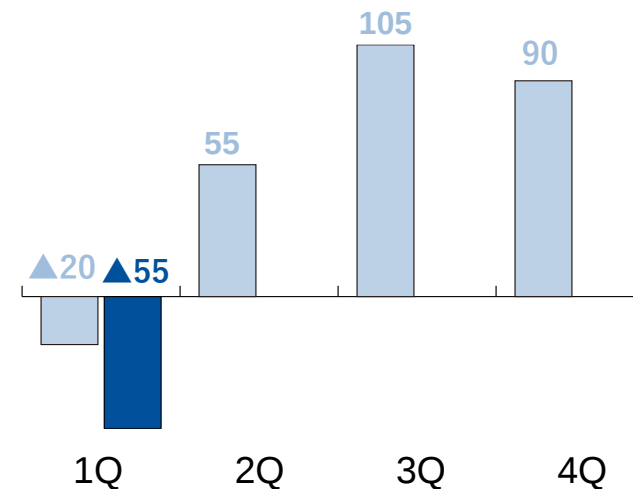
<今後の取り組み>

- 提案型営業の更なる推進と、グループ間の連携によるシナジー創出に努める

営業利益四半期推移（単位：百万円）

■ 計画

■ 実績



	計画 (前年比)	実績 (前年比)	計画 達成率
売上数量	91.0%	84.4%	92.8%
- 燃料油	89.9%	84.2%	93.6%
- 潤滑油	111.1%	101.1%	91.0%
- アスファルト	101.3%	85.5%	84.4%

サービス体制、新規営業を強化したことにより計画を大幅に上回る

営業利益

50 百万円

計画比

+ 55 百万円

<1Qについて>

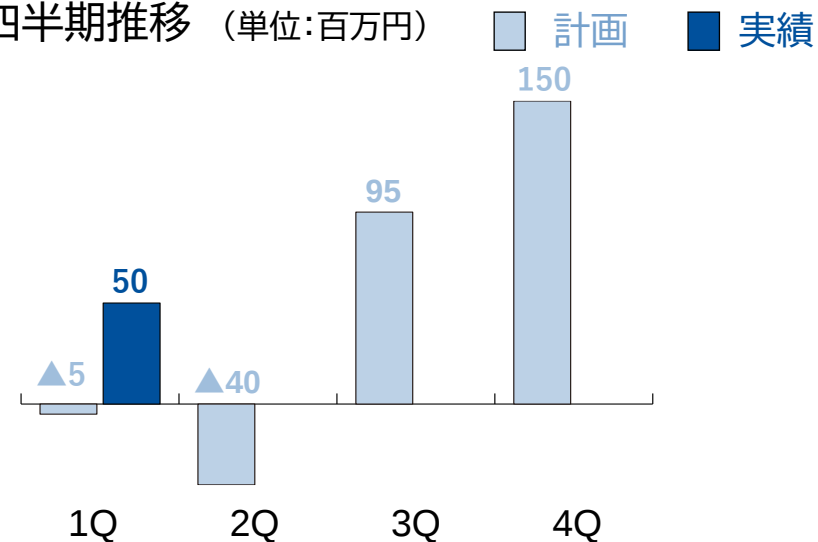
- お客様の節約意識の高まりと暖房需要の減少により
一世帯当たりの燃料消費量が減少し、販売数量は苦戦
- 点検活動・灯油配送体制を含む
アフターサービス等のサービス体制充実に注力
- 新規顧客への提案型営業を強化したことにより、
顧客数が増加し収益が拡大



<今後の取り組み>

- 引き続きアフターサービスの充実に努め、
新規営業並びに提案型営業を推進

営業利益四半期推移（単位：百万円）



	計画 (前年比)	実績 (前年比)	計画 達成率
売上数量	97.2%	98.6%	101.5%
- LPG	105.3%	99.8%	94.8%
- 灯油	92.6%	98.0%	105.8%

顧客ニーズを的確に捉えたレンタル機材の早期発注・早期確保により、計画を大幅に上回る

営業利益

47 百万円

計画比

+ 57 百万円

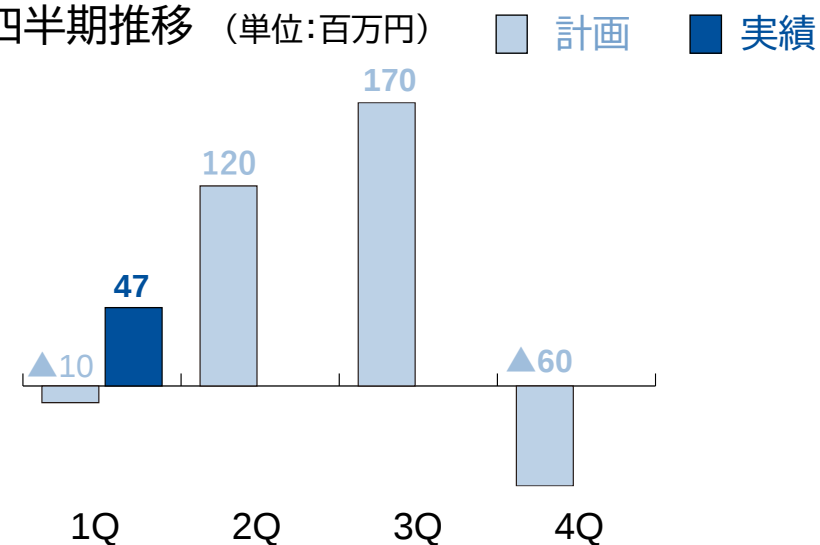
<1Qについて>

- 公共工事請負金額は増加も、半導体不足や排ガス検査数値偽装問題により、建設機械と車両の納期遅延が継続
- お客様が必要なレンタル建設機材の早期発注による安定導入とラインナップを拡充
- 新たなセグメントにおける顧客獲得活動による売上高・利益の最大化

<今後の取り組み>

- 引き続き顧客のニーズに応える営業活動の実施と新規顧客の開拓および既存顧客への拡販に努める

営業利益四半期推移 (単位:百万円)



	計画 (前年比)	実績 (前年比)	計画 達成率
売上高	88.4%	103.0%	116.4%
- レンタル	100.6%	111.9%	111.3%
- その他	69.4%	88.9%	128.2%

再生重油拡販、リサイクル効率向上に取り組むも、土壌汚染対策工事の受注減により計画未達

営業利益

67 百万円

計画比

▲3 百万円

<1Qについて>

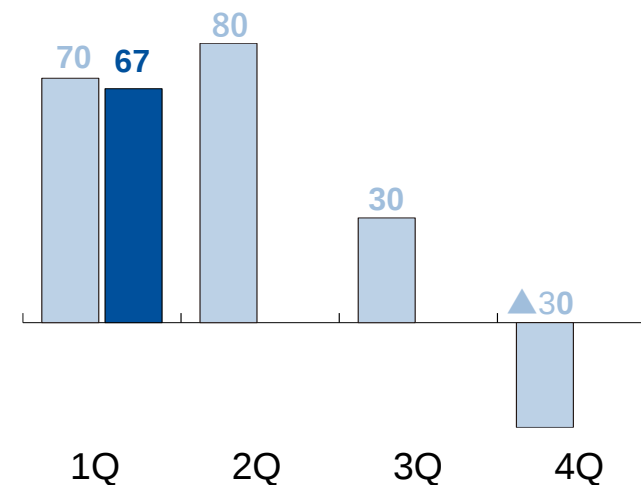
- 再生重油の付加価値を訴求した新規顧客開拓と、石油事業とのシナジーによる増販に取り組む
- OA機器等のリサイクル効率の向上や廃油回収先の新規開拓等による収益確保
- 油漏洩事故に伴う土壌汚染対策工事の確実な受注に努めるも、計画を下回る

<今後の取り組み>

- 市場動向に沿った有価物の売却を図るとともに、積極的な設備投資とリサイクル技術力向上に注力

営業利益四半期推移（単位：百万円）

■ 計画 ■ 実績



	予算達成率
売上高	80.1%
- 資源リサイクル	106.8%
- オイルリサイクル	103.0%
- 環境リサイクル	38.8%

アドブルーの需要を捉えた拡販施策により営業利益計画達成

営業利益

66 百万円

計画比

+6 百万円

<1Qについて>

- 太陽光発電事業について、順調に推移し、各発電所ともほぼ前年並みの発電を実施
- アドブルー販売事業について、個人消費による需要拡大を見越し、ホームセンター等の小売り向け販売を拡充
- 仕入先との連携により安定供給を継続し、アドブルーの収益の最大化に注力



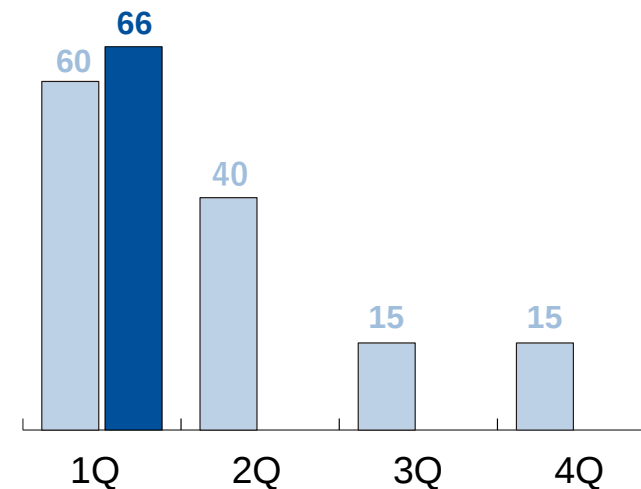
<今後の取り組み>

- 仕入先との良好な関係の維持・強化による安定供給体制の継続、ホームセンター等の小売り向け販売の更なる拡大を図る

営業利益四半期推移 (単位:百万円)

■ 計画

■ 実績



	計画 (前年比)	実績 (前年比)	計画 達成率
太陽光発電量	84.1% (100.8%)※	83.6% (99.9%)	99.4%
アドブルー販売数量	119.8%	106.7%	89.1%

※()内は2023年1月に売却した阿久根発電所を除いた前年実績と比較した場合の数値

各種施策実施により、5月に発表した、前年を上回る計画達成を目指す

(単位：百万円)

	2023年3月期 上期実績	2024年3月期 上期計画	上期計画 前年対比	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期計画	通期計画 前年対比
売上高	29,151	28,300	▲851	65,073	65,900	+827
営業利益	153	350	+197	338	930	+592
- 石油事業	▲135	35	+170	▲279	230	+509
- HE事業	▲8	▲45	▲37	149	200	+51
- レンタル事業	177	110	▲67	232	220	▲12
- リサイクル事業	-	150	-	70	150	+80
- 環境関連事業	120	100	▲20	165	130	▲35
経常利益	165	370	+205	363	950	+587
純利益	163	250	+87	393	630	+237

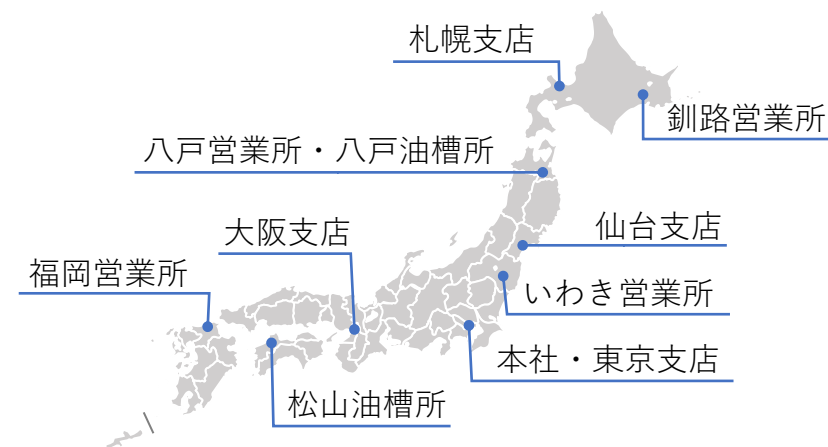
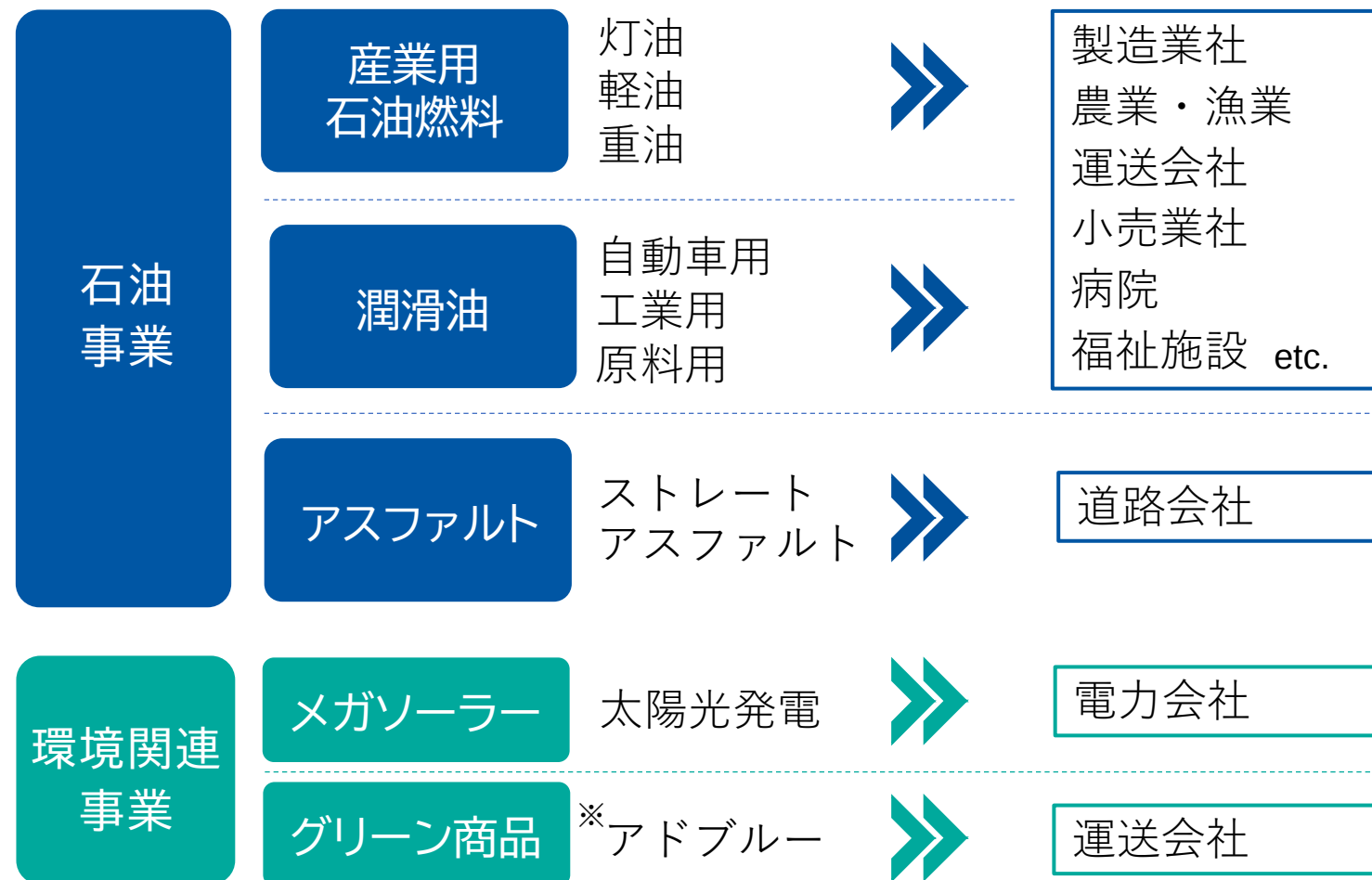
1株当たり中間配当28円、期末配当68円の年間96円を予定

	単位	中間	期末	合計
純利益	(百万円)	250	380	630
配当総額	(百万円)	184	447	630
- 配当単価	(円/株)	28	68	96
- 対象株数	(千株)	6,577	6,577	-
自己株式取得	(百万円)	-	-	-
総還元額	(百万円)	-	-	630
総還元性向	(百万円)	-	-	100.0%

- 中期経営計画期間中は総還元性向100%を目安とした株主還元を実施
(2022年3月期 ~ 2024年3月期)

Appendix

- 事業概要（個人投資家向け会社説明会資料より抜粋） : P. 10 - 12
- 連結貸借対照表・連結キャッシュフロー : P. 13
- 2024年3月期計画（2023年3月期決算説明資料より抜粋） : P. 14 - 17
- 原油価格・プロパンCP推移 : P. 18



全国幅広い業種への安定供給体制



次世代液体エネルギー供給に発展

※アドブルー：ディーゼル車の排ガス中の窒素酸化物（NO_x）を無害化する「SCRシステム」に使用される高品位尿素水

富士ホームエナジー(株)

ホームエネルギー事業

- ・家庭用燃料および関連商品を取り扱い

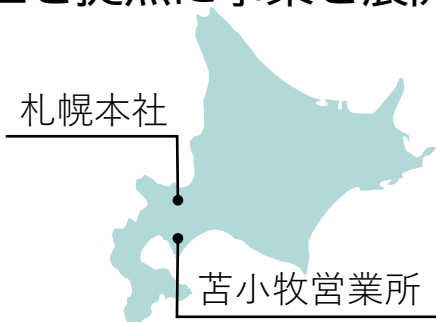
LPガス

灯油

電気

住宅設備

- ・北海道道央地区を拠点に事業を展開



- ・万全な保安体制

365日24時間緊急受付対応



富士レンタル(株)

レンタル事業

- ・建設機械のレンタル、販売を手掛ける

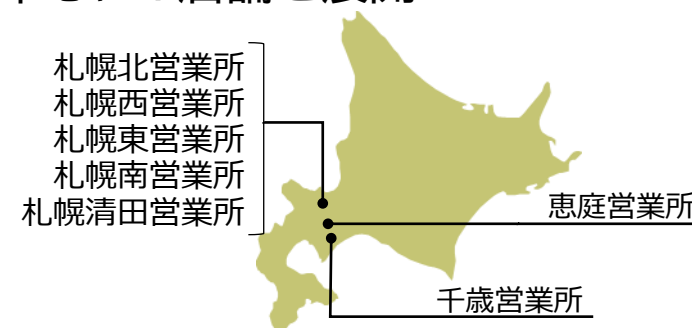
建機

重機

建築資材

発電機

- ・札幌中心に7店舗を展開



- ・道央地区でドミナント形成

機材の融通
他営業所へ返却可能



オイルリサイクル事業

- ・再生重油の製造、販売



資源リサイクル事業

- ・廃プラ、OA機器のリサイクル



環境リサイクル事業

- ・漏油対応、汚染土壌浄化



すべてのモノに価値を見出し、持続可能な社会を目指す

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 6月末
流動資産	10,840	9,661
現預金	2,745	2,663
受取手形及び売掛金等	6,910	5,833
その他	1,185	1,165
固定資産	7,444	74,69
うち有形固定資産	5,326	5,398
資産合計	18,284	17,130
負債	8,960	7,944
支払手形及び買掛金	5,964	5,203
有利子負債	978	
その他	2,018	
純資産	9,324	9,186

連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲59
(フリー・キャッシュ・フロー)※	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲277
現金及び現金同等物の増減額	▲84
現金及び現金同等物の四半期残高	2,619

※ (営業活動によるキャッシュ・フロー) + (投資活動によるキャッシュ・フロー)

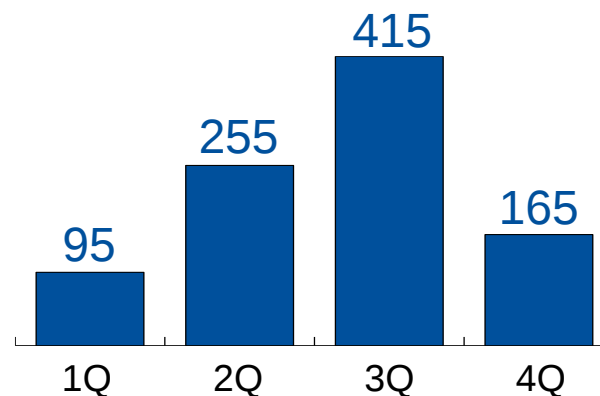
中期経営計画最終年度の達成を目指し販売基盤・収益基盤を強化

	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前年対比
売上高	65,073	65,900	101.3%
営業利益	338	930	275.1%
- 石油事業	▲279	230	-
- HE事業	149	200	134.2%
- レンタル事業	232	220	94.8%
- リサイクル事業	70	150	214.3%※
- 環境関連事業	165	130	78.8%
経常利益	363	950	261.7%
純利益	393	630	160.3%

※リサイクル事業の2023年3月実績は半期分

- インフレの高進や人件費の上昇、金融政策の転換による金利の上昇など引き続き厳しい事業環境が予想
- (石油事業)外部環境に左右されない販売基盤の構築
- (HE事業)供給体制強化と新商材等による収益最大化
- (レンタル事業)機材安定導入および顧客拡大による収益拡大
- (リサイクル事業)より循環型社会に貢献する企業への体制強化
- (環境関連事業)アdblueの更なる増販に注力

四半期別営業利益計画 (単位:百万円)

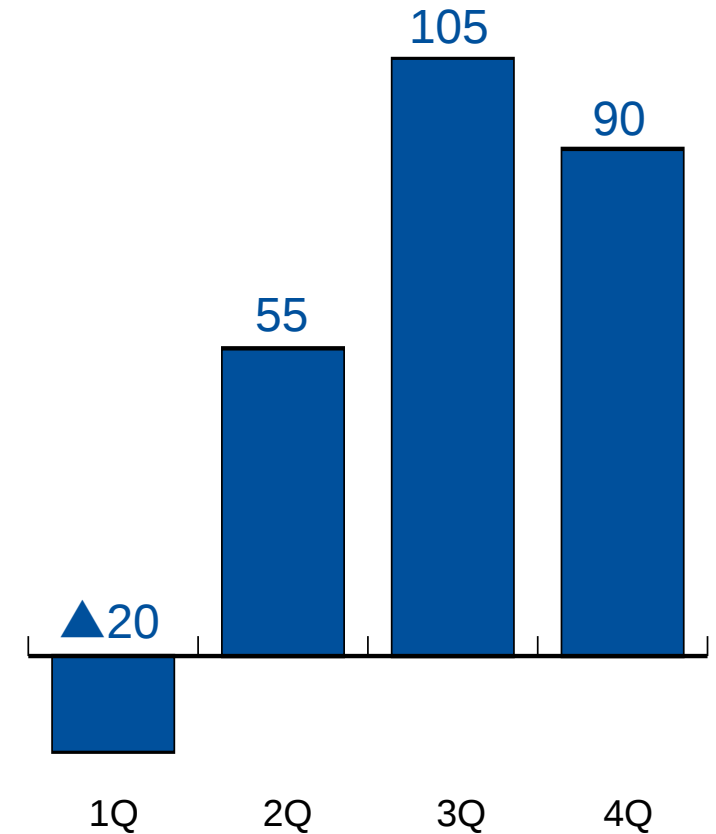


外部環境に左右されない販売基盤の構築

- 燃料販売に繋がる商品やサービスの訴求など、提案型営業を強化することによる収益の最大化
- 商社機能強化、地域リソースを活かした新たな取組創出
- 環境負荷の低減に資する商品の提供による事業拡大
- グループ間の連携による新たなシナジーの創出
- 自社基地・グループ間連携によるサプライチェーン強化
- 管理ツール導入・手法見直しによる業務効率化

⇒ セグメント利益 **230** 百万円

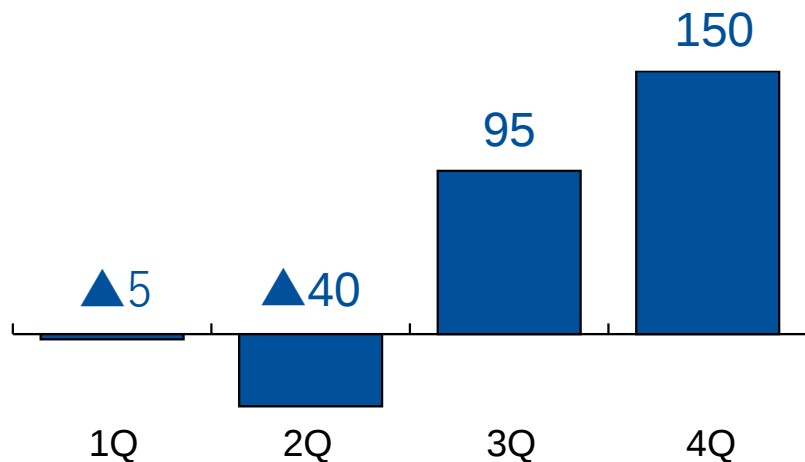
四半期別営業利益計画 (単位：百万円)



供給体制強化と新商材等による収益最大化 / 機材安定導入および顧客拡大による収益拡大

<ホームエネルギー事業>

四半期別営業利益計画 (単位: 百万円)

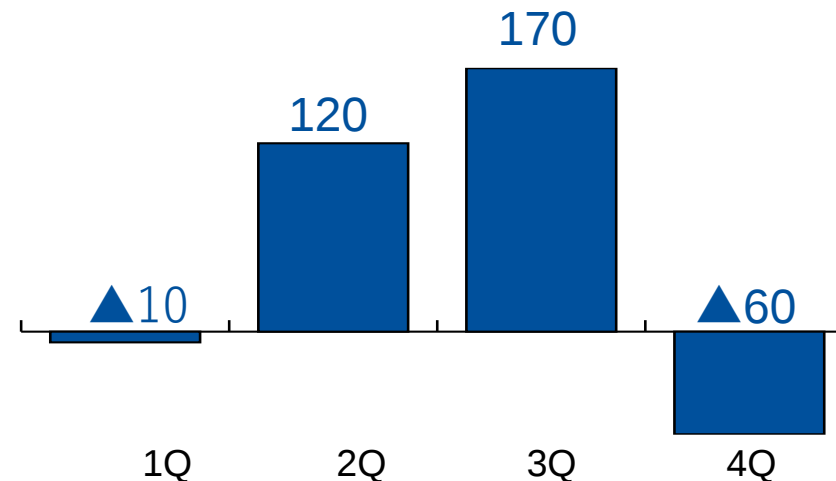


- 「安心・安全・安定」供給体制を柱に安定的な収益確保
- 環境にやさしい商品やサービス提供による新規顧客の獲得
- 新たな商材による既存ビジネスの発展

セグメント利益 **200** 百万円

<レンタル事業>

四半期別営業利益計画 (単位: 百万円)



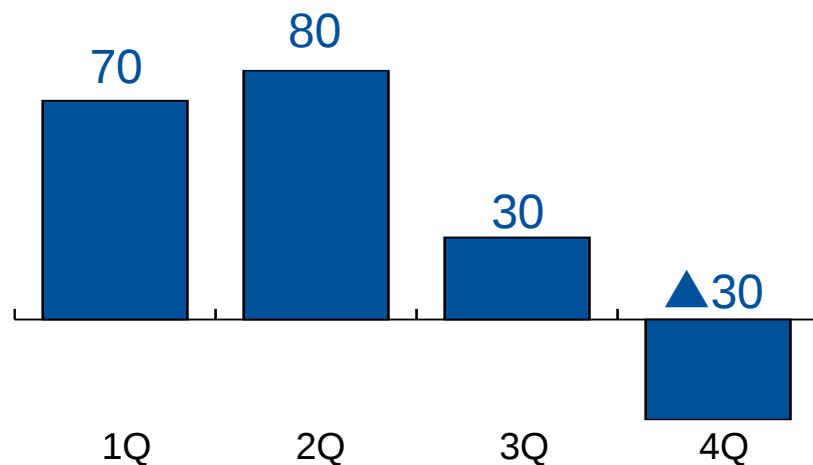
- レンタル機械の早期発注による安定導入・確保
- 新規顧客の開拓および既存顧客の拡販
- 貸出単価へ建設機械や車両価格上昇分を転嫁

セグメント利益 **220** 百万円

より循環型社会に貢献する企業への体制強化 / アドブルーの更なる増販に注力

<リサイクル事業事業>

四半期別営業利益計画 (単位: 百万円)

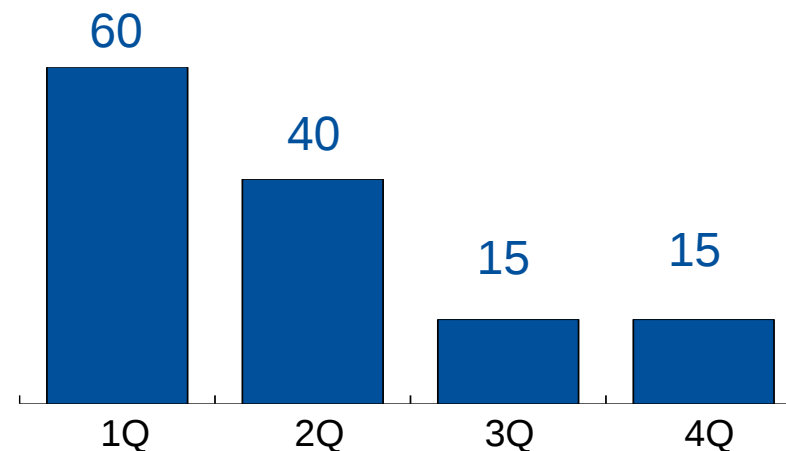


- 廃棄物や廃油の回収を安定して実施できる体制の強化
- 再資源化の更なる強化と販売先の拡充
- 中間処理技術の効率化と新たな取扱品の開拓

セグメント利益 **150** 百万円

<環境関連事業>

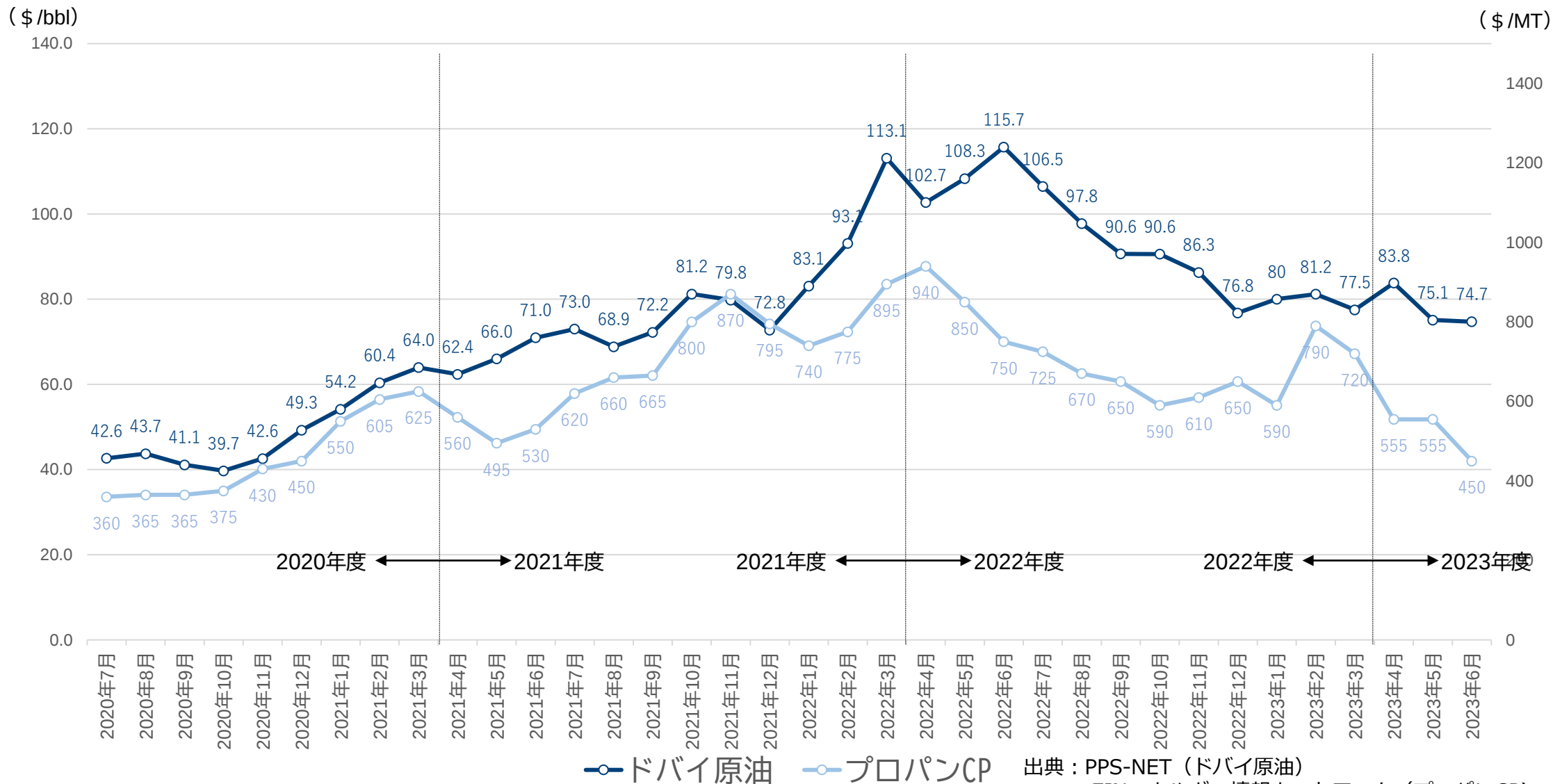
四半期別営業利益計画 (単位: 百万円)



- アドブルーの小売店向け販売の取り組み強化
- 輸出版売への取り組みの実施

セグメント利益 **130** 百万円

原油価格・プロパンCP推移 (2020年7月～2023年6月)



- ・ 資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- ・ 当資料に記載されている当社の現在の計画等は、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらにより将来予測・業績予想には、リスクや不確定な要因を含んでおります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。